



みんなのページ、今月も素敵な作品が届きました。川柳・イラストなら特にたくさんありました。子どもから年寄りまで、皆さんの投稿をお待ちしています。

みんなのページ

- 何をしに席を立ったか又忘れ
平井ちくさん(朽木大野)
- 緑萌ゆ山の向こうは同市民
西川五穂三さん(高島)
- 田が植わるのどかな郷に蛙鳴く
梅村金次郎さん(安曇川町藤江)
- 食べ頃の野菜を猿に持ってかれ
平井真造さん(安曇川町上古賀)
- 親の敷くレールが子には長すぎる
平井ちくさん(朽木大野)
- もったいないが体重2キロパーサー
中野育子さん(朽木大野)
- カツカレー二回目からはカツはなし
山本純太さん(朽木西小5年)
- びわ湖みる我らうみのここにあり
駒蹴踏書さん(朽木西小5年)

高島小学校 六月の俳句より

- 水田でかえるげこげこあすは雨
Y.Rさん(4年女子)
- 雨がふりかえるが遊ぶたのしそ
U.Tさん(4年女子)
- 音楽はきれいな音でえんそうだ
Y.Yさん(5年女子)
- 給食は栄養たっぷりとてもいい
Y.Yさん(5年女子)
- さくらんぼあまくておいしいさくらんぼ
H.Mさん(2年女子)
- あじさいはきれいな花だこりゃいいな
K.Yさん(2年男子)
- もうすぐであついで夏だうれいいな
H.Aさん(4年女子)

毎日募集中!

みんなのページ「川柳」
テーマは特に設けません。ひとり一作品まで。自由に発想した作品をお待ちしています。
・集まれー画伯「絵・イラスト」
子どもたちのかわいい作品大募集ー対象者は0歳から15歳まで。

※毎月10日メ切。(掲載希望作品が多かった場合またはメ切を過ぎた場合は、次月の広報に掲載)
※投稿方法 郵便またはe-mailにより、作品に名前、連絡先を必ず書き添えて市役所秘書広報課まで投稿してください。
〒520-1502 高島市新旭町北畑505番地
高島市役所 企画部 秘書広報課
「みんなのページ」係まで
☎25-81300
e-mail koho@city.takashima.shiga.jp



KID'S NEWS

愛・地球博のキャンペーン日程が決まりました!

「地雷をなくす」キャンペーン委員会

【キャンペーン日程】

7月25日 ① 13時〜	② 14時30分〜
7月26日 ① 11時〜	② 13時〜
7月27日 ① 11時〜	② 13時〜
7月28日 ① 11時〜	② 13時〜
7月29日 ① 11時〜	② 13時〜
7月30日 ① 11時〜	② 12時30分〜

みなさんこんにちは。私たちは「地雷をなくす」世界子ども委員会(Ban Landmines International Children's Committee = Blicc) J.Po. 去る6月4、5日に愛・地球博でのキャンペーン活動に向け、合宿ミーティングを行いました。

合宿では、新メンバーを加えた64人の仲間が地雷についての勉強会やキャンペーンの準備などを行いました。交流会やチームソングの練習を通じてみんなが結束を強め、とても充実した合宿でした。そして、この合宿で7月25日〜30日に愛・地球博で地雷廃絶キャンペーンを行うプログラムの内容を仕上げました。本番に間に合うように考えたり話し合ったりしている間はみんな表情が真剣でした。

キャンペーンでは、自分たちで作った歌や朗読メッセージを発表し、またパネルや映像を使った活動の紹介を行います。

みなさん、ぜひ7月25日〜30日の期間に愛・地球博の地球市民村で地雷廃絶キャンペーンを行う僕たちの姿を見てください!



市長日記

じりじりと照りつける暑さのなかで、田んぼをカラカラに乾かし、辛抱しての土用干しです。稲が古い根から、夏を越え実りをもたらす新しい根(毛根)を育む作業といえます。

自然の営みの一部となっている人々は、思い通りにならないこと、辛抱の時を知っておられます。子育てや認知症の受け入れに対してもコントロールより寄り添うことが大事ということと同じかもしれせん。何にでもすぐに結果を求めようとする自分に気がつきませう。

コンビニやファストフードなど、すぐ買える暮らしに取り込まれ、ご近所との関係を編むことも苦手になり、便利・快適でないといわなくなってきました。気持ちのコントロールができない事件が多くなりました。効率優先とマンネリで、自分で物事を考えることも少なくなり、無表情になっていきます。作る豊かさからも遠ざかっていきます。辛抱の時やみんなが過ごす時間という畑でこそ、育つものがあるように思えます。



感じます。そんなええもんちやうどとおっしゃる方もいらっしやるのが世の常ですが、自然村を背景とする高島市の196集落の底力を垣間見れるものです。区長さんは、地元学、高島学であるもの探しをしようと意欲的で誇らしげでした。懇親会もさぞ楽しい時間だったことでしょう。そこでまた新しく育つもの、結ばれるものがあるのですね。

高島市で一番大きな集落である西万木区のしょうぶ祭りにもお邪魔しました。自主防災に取り組みと、独居高齢者のことや避難場所のことなどを熱心に語ってくださいました。何と約三千人の集落(自治会)です。守る人々によって守られています。

生水や、かばたで俄然注目を集める針江区では、夏の川掃除に20名限定で有料参加者(大人四千円、子ども二千円)をインターネットで募るとのこと。難儀な川掃除の藻刈り作業が、したことの無い人には、垂涎の体験であることを、かばた案内での触れ合いを通し実感されているとです。都会から来た方に「ごやるか?」と問いかけたら「藻刈りまっか」という企画にしてはと提案があったとか。このごろ観光バスを連ねて来る団体客ではありませんが、高島市のファンが増えていくようです。「ここは時間の流れ方が違う」とおっしゃいます。

集落の豊かさに感嘆しました。三谷区の運動会には、約60世帯、200人を越える方が参加されていました。何とプログラムは苗字のない名前だけの選手名簿です。拓也、結貴、直樹、彩葉、朱里……子ども達の競技から、まさ子、シゲ子、吉和と大人の競技まで9種目延べ341人の名前が並んでいます。古谷さんの多い地域として有名ですが、結び合う人間関係の豊かさの姿であり、教育、福祉、防災、防犯などと分野別でなく、まさに「仕合せ」の関係が高レベルで織り成されていると

海東英和 拝



国土交通省道路局要望

高島市 歴史散歩

朽木陣屋跡

朽木野尻に位置する朽木陣屋跡は、近江源氏佐々木氏の一族で中世・近世をとおして朽木谷一帯を支配した朽木氏が、江戸時代に本拠とした城館跡であるといわれています。

朽木氏は、都と日本海を結ぶ若狭街道沿いに拠点をもち、朽木庄内の豊富な農地や河川の管理などを通して力を蓄えていきました。室町幕府の中では、都に近い立地と軍事力などの面で重用され、幕府の奉公衆として將軍の親衛隊的な役割も担っていました。

元龜元年(一五七〇)、織田信長の越前朝倉氏攻めの際には、浅井氏の裏切りによって退路を断られた信長が朽木氏の手配によって無事若狭街道から京へ逃れたというエピソードも知られています。

朽木陣屋跡は方2町の規模もち、内部には御殿や馬場が設けられていたといいますが、明治維新に建物は取り壊され、現在では堀や土塁、石垣の一部が見えるだけになっています。

近年行われた発掘調査では、堀や橋や道などの遺構が確認され、出土遺物から、これらが室町時代の朽木氏の城跡である可能性も推測されています。

現在、朽木陣屋跡には古井戸や石垣の一部などが残り、一画には萱葺きの民家が移築されています。また敷地内の朽木資料館には、朽木の歴史、文化を伝える貴重な文化財が数多く展示されています。

また江戸時代には、九千石を支えられ、旗本でありながら老中支配の交代寄合として参勤交代を務めるなど、大名の格式を備えていました。



朽木陣屋跡の現在の様子 (文化財課)